

令和4年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
1	茨城キリスト教大学	日立市・茨城キリスト教大学 連絡協議会連携事業 「学生プロジェクト」	学生が主体的に取り組む、地域の課題解決や活性化テーマとした調査・研究活動を支援した。	1 実施期日 令和4年7月から令和5年3月まで 2 内容 (1) まちづくりに関する調査・研究の実施 (2) 成果発表会の実施（令和5年2月18日(土)） (3) 成果報告書の作成 3 実施プロジェクト (1) HITACHI App Project (2) 就活アプリによる日立市活性化プロジェクト (3) コミュニティ活性化における日立市アプリの活用について (4) 日立デジタルプロジェクト (5) 現役世代が参加する地域づくりに関する提案	政策企画課
2	茨城キリスト教大学	学生モニター	市内大学の学生による市政取材・市報記事作成を行うことによって、若い世代にも身近に感じられる市報の紙面づくりを進め、広く市政に関心を持ってもらうきっかけとした。	市報掲載号 11月5日号市報「デイサービスについて」 1月20日号市報「日立市天気相談所について」	広報戦略課
3	茨城キリスト教大学	経営学部経営学科「経営特講 I」への講師派遣	茨城キリスト教大学経営学部経営学科「経営特講 I」の講師として、市職員4名を派遣した。	1 実施期日 令和4年9月29日(木)から令和5年1月19日(木)まで(全5回) 2 講義内容等 (1) 日立市のシティプロモーションについて (2) 若者応援事業～かがやく若者であふれるひたちへ～ (3) ゼロカーボンシティひたち～みんなでできる地球温暖化対策～ (4) 日立市の観光振興について (5) 学生発表会 3 受講者 約40人	人事課
4	茨城キリスト教大学	日立市職員「グローバル・イングリッシュ研修」と新任職員研修「英会話講座」の実施	“外国人にもやさしい市役所”を目指し、主に外国人と係わる職場の職員を対象として、茨城キリスト教大学との連携による英会話力向上研修「グローバル・イングリッシュ研修」を実施し、2コース(各コース10回)に市職員18名が参加した。全コースにおいて、同大学の日本人教員及び英語母語話者教員2名によるティーム・ティーチングによる指導を受けた。 また、今年度は新任職員研修において「英会話講座」を2回実施し(対象者を半数ずつ、前期・後期に分割)、41名が参加した。	【グローバルイングリッシュ研修】 1 実施期日 (1) おもてなし前期コース 令和4年6月1日(水)から8月3日(水)まで (2) おもてなし後期コース 令和4年10月5日(水)から12月21日(水)まで 2 受講者 延べ18人 【英会話講座】 1 実施期日 令和4年6月17日(金)、10月27日(木) 2 受講者 延べ41人	人事課
5	茨城キリスト教大学	日立市総合防災訓練	日立市総合防災訓練の久慈中学校会場(避難所開設・運営訓練)において、企業等による防災関連ブースの出展を行った。 その中で、食物健康科学科の学生によるPRブースを出展し、防災レシピやローリングストック等に関する広報を行った。	1 開催日 令和4年11月5日(土) 2 出展者 茨城キリスト教大学 食物健康科学科 5名	防災対策課

令和4年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
6	茨城キリスト教大学	外国人市民向け生活ガイドブック改訂	外国人市民向け生活ガイドブックの改訂作業を実施した。	1 実施期日 令和4年10月から令和5年1月まで 2 内容 (1) 日立市の外国人市民の現状についてのオリエンテーション (2) 日立市で行っているやさしい日本語の事業の紹介 (3) 成果発表会の実施 (4) 成果報告書の作成 3 協力者 (1) 令和4年度「日本語と社会」履修学生 (2) 大学教員	文化・国際課
7	茨城キリスト教大学	女性の人材育成事業「1day女性カレッジ」	茨城キリスト教大学講師を招き、交流分析に基づいた自分の特性を診断できる「エゴグラム」を体験し、自分の性格や行動パターン、対人関係の傾向や自分の強みになり得る特性を知ることで、参加者が自己理解を深め、今後自分の理想とする形で社会参加するために今からできることを考え行動するきっかけとするための講座を開催した。	1 開催日 令和4年10月4日(火) 2 題目 「エゴグラムで自分発見、アサーションで自分表現」 3 受講者 17人	女性若者支援課
8	茨城キリスト教大学	資格取得準備講座 TOEIC®L&Rテスト対策講座 500点+をめざそう	茨城キリスト教大学の非常勤講師を招き、TOEICテストのスコアアップや目標スコアを達成するため、TOEICテスト形式の問題を通して効率よく学習する方法を学んだ。	1 実施期日 令和4年11月10日(木)から12月15日(木)まで【全6回】 2 題目 資格取得準備講座 「TOEIC®L&Rテスト対策講座500点+をめざそう」 3 受講者 延べ54人	女性若者支援課
9	茨城キリスト教大学	大学生人材リスト活用事業 「(仮称)ダイバーシティひたちをつくる大学生円卓会議」	「大学生人材リスト」を作成したことから、リストを活用し、第4次ひたち男女共同参画計画についてをテーマに意見交換をすることで、課題を抽出する機会とした。	1 開催日 令和5年2月19日(日) 2 内容 大学生人材リストについて、意見交換会 3 参加者 茨城キリスト教大学生1人、常磐大学生 4人	女性若者支援課
10	茨城キリスト教大学	第2回発達段階に応じた子育て講座	未就学児の保護者を対象に、子どもの発達段階に応じた学びの場を提供し、家庭における子どもとの関わり方や保護者が抱える育児不安の軽減等に努めた。	1 開催日 令和4年6月29日(水) 2 題目 「子育てのエッセンスーいろんな角度から子どもの育ちをみてみようー」 3 参加者 保護者15名、子ども17名	子どもセンター
11	茨城キリスト教大学	第5回発達段階に応じた子育て講座	未就学児の保護者を対象に、子どもの発達段階に応じた学びの場を提供し、家庭における子どもとの関わり方や保護者が抱える育児不安の軽減等に努めた。	1 開催日 令和5年1月28日(土) 2 題目 「子育てとコーチング」 3 参加者 保護者22名、子ども23名	子どもセンター

令和4年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
12	茨城キリスト教大学	第1回日立市子育て支援事業連絡会	地域子育て支援拠点事業を実施している事業所の職員を対象に子育てに関する講演会を開催し、職員の資質の向上を図った。	1 開催日 令和4年6月16日(木) 2 題目 「子育て支援の場で求められるスキル」 3 参加者 20事業所(47名)	子どもセンター
13	茨城キリスト教大学	日立市巡回支援専門員整備事業	茨城キリスト教大学のカウンセリング子育て支援センターに所属する教員が、市内の保育園等の施設を巡回訪問し、発達に気になる児童への対応について保育士等に対して助言等の支援を行った。	1 巡回に参加した教員 7人 2 訪問した園の数 15園 3 巡回した回数 42回	障害福祉課
14	茨城キリスト教大学	新たな連携創出支援事業	学生が主体的に取り組む、地域の課題解決や活性化テーマとした取組を行うに際し、日立市が後援しているイベントの運営への参加を支援した。	「ヒタチマルクト(地域産品の販売イベント)」 1 開催日 令和4年9月16日(金)、11月25日(金) 2 場所 日立市役所大屋根広場	商工振興課
15	茨城キリスト教大学	たがとしょかんこどもまつり	学生サークルTanPoPoの協力を得ることにより、人形劇を上演した。	1 開催日 令和4年11月19日(土) 2 内容 人形劇と手遊びの実施 3 参加者 13人	多賀図書館
16	茨城キリスト教大学	読み聞かせ講座	茨城キリスト教大学の文学部の教授を講師に迎え「読み聞かせ講座」を市民向け(絵本の読み聞かせに関心のある方)を対象に講座を開催した。	1 開催日 令和4年11月16日(水) 2 題目 「読み聞かせ講座 幼いお子さんと楽しむ絵本・わらべうた」 3 受講者 9人	南部図書館
17	茨城キリスト教大学	日立市いじめ調査委員会	日立市いじめ調査委員会を開催した。(委員長:茨城キリスト教大学教授)	1 開催日 令和5年3月15日(水) 2 内容 日立市における児童生徒のいじめの状況について、事例検討	指導課

令和4年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
18	茨城キリスト教大学	日立市いじめ問題対策連絡協議会	日立市いじめ問題対策連絡協議会を開催した。 (委員長:茨城キリスト教大学教授)	1 開催日 令和4年7月7日(木) 2 内容 日立市における児童生徒のいじめの状況について 各組織・団体の取り組み状況について	指導課
19	茨城キリスト教大学	部活動の段階的な地域移行に向けた検討委員会	部活動の段階的な地域移行に向けた検討委員会を開催した。(委員長:茨城キリスト教大学准教授)	1 開催日 令和4年10月18日(火)ほか2回 2 内容 部活動の段階的な地域移行の在り方についての協議	指導課
20	茨城キリスト教大学	教育ボランティア支援事業	茨城キリスト教大学、茨城大学、常磐大学に教育ボランティア募集案内の協力を依頼し、応募した学生を採用した。学生は市内小・中学校、特別支援学校で学習指導の補助等のボランティア活動を行った。	1 実施期日 令和4年4月から令和5年3月まで 2 採用者 22人(茨城キリスト教大学15人、茨城大学6人、常磐大学1人) 3 採用者内訳(校種別) (1) 小学校9校 (2) 中学校1校 (3) 特別支援学校1校	指導課
21	茨城大学	地域研究・地域連携プロジェクト「市民と創る未来の日立市創造のための産官学連携組織構想」	産学官が連携し市の地域課題を解決するための方策を議論する場「日立未来共創リビングラボ」の立ち上げに向けた検討を行った。	1 実施期日 令和4年6月から令和5年3月 2 内容 市及び大学間での意見交換の実施	政策企画課
22	茨城大学	日立市防災士養成講座	日立市防災士養成講座における履修科目の一つとして、講義「地震・津波による災害」について、信岡教授の講師派遣を依頼した。	1 実施期日 令和5年1月21日(土)、22日(日) 2 題目 「地震・津波による災害」について 3 参加者 54名(コミュニティ関係者、市職員等)	防災対策課
23	茨城大学	防災少年団	女性防災士と学生の連携による小学生を対象とした防災イベントを実施し、防災に関する意識向上・理解を深めた。	1 開催日 令和4年10月16日(火) 2 内容 (1) 防災ビンゴゲーム (2) 避難所体験ボードゲーム (3) 液化化実験 (4) 果実からの発電実験 3 参加者 20名(小学生)	防災対策課

令和4年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
24	茨城大学	プログラミング教室	小学生を対象としたスクラッチによるプログラミング教室を実施した。	1 実施期日 令和4年5月21日(土)、28日(土) 2 内容 スクラッチを使ったプログラミングで気軽に利用できるゲームを作った。 3 参加者 延べ20人(2日間)	文化・国際課 (日立シビックセンター)
25	茨城大学	オープンラボ	茨城大学工学部梅津研究室の学生による修士論文、卒業論文の研究のシステム展示とデモンストレーションを行い、来館者が各種の学習支援システムを体験した。	1 実施期日 令和4年8月27日(土)、28日(日) 2 内容 (1) スポーツ練習の支援システム (2) 文字を用いたメディアアートの実演と印刷・配布 (3) 床プロジェクションによる月の満ち欠けの学習 (4) LiDARセンサによる人流計測のプロトタイプ (5) LCDテーブルでボロノイ図の仕組みを学ぶシステムなど 3 参加者 延べ300人(2日間) (※)LiDAR:レーザー光を照射して、その反射光の情報をもとに対象物までの距離や対象物の形などを計測する技術のこと。 (※)LCD:液晶ディスプレイのこと。	文化・国際課 (日立シビックセンター)
26	茨城大学	オープンラボ	茨城大学工学部梅津研究室の学生による修士論文、卒業論文の研究のシステム展示とデモンストレーションを行い、来館者が各種の学習支援システムを体験した。	1 開催日 令和4年9月25日(日) 2 内容 (1) スポーツ練習の支援システム (2) 非接触操作による情報キオスク (3) 床プロジェクションによる月の満ち欠けの学習 (4) LiDARセンサによる人流計測のプロトタイプ (5) LCDテーブルでボロノイ図の仕組みを学ぶシステム 3 参加者 120人	文化・国際課 (日立シビックセンター)
27	茨城大学	オープンラボ	茨城大学工学部梅津研究室の学生による修士論文、卒業論文の研究のシステム展示とデモンストレーションを行い、来館者が各種の学習支援システムを体験した。	1 実施期日 令和5年1月8日(日)、9日(月) 2 内容 (1) お絵描きトロッコ(塗り絵の参加120枚) (2) 文字を用いたメディアアートの実演と印刷・配布 (3) 床プロジェクションによる月の満ち欠けの学習 (4) LiDARセンサによる人流計測のプロトタイプ (5) LCDテーブルでデジタル論理の基本を学ぶシステム 3 参加者 延べ300人(2日間)	文化・国際課 (日立シビックセンター)
28	茨城大学	冬の特別イベント「鉄道キッズワールド」	茨城大学工学部道辻研究室の鉄道分野の研究を紹介するパネルと、鉄道に関する模型を展示した。	1 実施期日 令和4年12月19日(月)から令和5年1月9日(月)まで 2 内容 (1) 「高効率と高安全を両立する交通システムの実現」をテーマにした研究紹介パネル (2) 独立回転車輪操舵台車の運動力学模型の展示 3 参加者 延べ10,934人(16日間の入館者数)	文化・国際課 (日立シビックセンター)

令和4年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
29	茨城大学	女性デジタル人材育成講座	プログラムの基礎知識の習得やプログラミング体験を通じて、今後デジタル分野への就労に向けた勉強のきっかけとなる講座を開催した。	1 実施期日 令和5年1月19日、21日、26日、28日 2 題目 女性デジタル人材育成講座「プログラミングをはじめよう」 3 受講者 延べ65人（託児11人）	女性若者支援課
30	茨城大学	常陸多賀駅周辺地区整備事業	常陸多賀駅周辺地区整備事業の周知を図るとともに、駅周辺施設整備を契機とした賑わいの創出と持続可能なまちづくり体制構築のため、演習授業への参画やまちづくりについての意見交換、学生活動の支援等を行った。	1 授業への参画 (1) 実施期日 令和4年4月22日(金)から7月29日(金)まで (2) 題目 茨城大学工学部都市システム工学科「社会基盤設計演習Ⅰ」ほか (3) 内容 学生による常陸多賀駅周辺地区の課題解決策の立案支援及び意見交換の実施 2 学生活動の支援(たが川柳) (1) 実施期日 令和4年7月15日(金)から28日(木)まで (2) 内容 常陸多賀駅周辺地区の魅力向上を目的とした川柳コンテストの開催支援	常陸多賀駅周辺地区整備課
31	茨城大学	常陸多賀駅周辺地区整備事業	駅周辺施設整備を契機とした賑わいの創出と持続可能なまちづくり体制構築のため、学生団体が主催する道路空間利活用の社会実験「常陸多賀まちな忘年会」の開催に向けた企画立案等への参画及び支援を行った。	1 実施期日 令和4年12月12日(月)から16日(金)まで 2 名称 常陸多賀まちな忘年会 3 内容 国土交通省が推進する「新型コロナウイルス感染症に対応するための沿道飲食店等の路上利用に伴う道路占用許可」制度を活用した社会実験の実施(対象道路における車両進入制限時の道路空間の効果の調査 等)	常陸多賀駅周辺地区整備課
32	茨城大学	産学官連携研究開発補助事業	県北地域中小企業が大学等と共同研究契約等を締結して実施する研究開発に係る経費を補助した。	1 支援件数 9件 2 主な内容 ア 多結晶ダイヤモンド成膜プレス金型の耐久性向上 イ 介護情報の自動登録を実現するためのデバイス制作 等	商工振興課
33	茨城大学	AM事業研究会(県北地域牽引産業・中核企業創出事業)	AM(金属積層造形技術:アディティブマニファクチャリング)を活用した新事業の展開を図る研究会を立ち上げ、セミナーの開催や活用方法の検討、試作等を行った。	1 内容 金属積層に係る設計や分析・評価等について助言を受ける体制の構築	商工振興課
34	茨城大学	地域中小企業と研究開発人材との人材交流のためのインターンシップマッチング支援事業(県北地域牽引産業・中核企業創出事業)	学生による地域中小企業へのインターンシップのマッチング支援を実施した。	1 実施期日 令和4年4月から令和5年3月まで 2 実施件数 39件(茨城大学32件、茨城工業高等専門学校7件)	商工振興課

令和4年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
35	茨城大学	「茨城学」への講師派遣	茨城大学の授業「茨城学」において、「日立市・日立地区産業支援センターの取組」について講義を行った。	1 開催日 令和4年11月9日(水) 2 題目 「日立市・日立地区産業支援センターの取組」について 3 参加者 約690人(人文社会科学部及び工学部1年生)	商工振興課
36	茨城大学	図書館資料の相互貸借	市立図書館と大学図書館において、所蔵資料の相互貸借を実施した。	1 大学からの借用 40件 2 大学への貸借 1件	記念図書館
37	茨城大学	動物園におけるサシバエの吸血生態に及ぼす環境及び動物の影響調査	飼育下の動物におけるサシバエによる吸血侵襲は、衛生管理等の観点から大きな問題とされている。前年度の調査において、サシバエの発生集中域がいくつか見られることや北園から南園へと移動していることが明らかとなった。今回の調査では、発生源の特定と制御の観点から、園全体におけるサシバエの吸血実態を調査した。	1 調査対象 動物全般 2 調査方法 (1) 園内全域にサシバエ捕獲用トラップを設置し捕獲 (2) 風速の測定	かみね公園管理事務所
38	茨城大学	飼育下のライオンにおける獣舎新設に伴う移動の行動及び生理的影響調査	飼育環境を変える際の移動ストレス、新規環境ストレスが安定化するプロセスを解明するため、新猛獣舎へのアフリカライオンの移動に伴う行動と生理の変化を調査した。	1 調査対象 アフリカライオン 2 調査方法 行動観察、条件記録、採糞	かみね公園管理事務所
39	茨城大学	日立市伊師浜において鶴飼用に捕獲される野生ウミウの生体構成成分分析調査	ウミウの種の羽・血液を採取して有害金属の濃度を分析し、ウミウにおける有害金属汚染の実態と性別や成長による違いを調査した。	1 調査対象 ウミウ 2 調査内容 ウミウの各個体から血液を収集し、抽出したDNAを用いた解析	かみね公園管理事務所
40	茨城大学	動物の排泄した糞から分離されるウェルシュ菌に関する研究	園内環境(獣舎、園路等)からウェルシュ菌の分離を試み、得られた菌株の遺伝子配列を解析し、昨年飼育動物の糞から分離された菌株と比較した。	1 調査対象 ライオン、トラ、ワシミズク、ノスリ 2 調査内容 土壌等の採取及び菌株の分離	かみね公園管理事務所

令和4年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
41	茨城大学	動物の排泄した糞から分離される乳酸菌に関する研究	排泄した糞から乳酸菌の分離を試み、分離できた場合には分離菌量などを解析した。	1 調査対象 動物全般 2 調査内容 糞のサンプル回収、動物年齢と乳酸菌の分離成績の関係	かみね公園管理事務所
42	茨城大学	ウミウの食餌内容の解析	ウミウの糞から食べた魚の種類を特定し、それを経年的に比較することで、海の中での魚の生息状況、ひいては海の中の環境状態を類推し、海的环境保護に役立てたい。ウミウの糞から精製したDNAを利用して調査した。	1 調査対象 ウミウ 2 調査内容 ウミウの糞からDNAを精製し、MiFish法による同時並列的な多種の魚類の検出	かみね公園管理事務所
43	茨城大学	ウミウの遺伝的多様性の解析	ウミウの種の多様性に関する情報がないため、DNA解析により遺伝的多様性を調査した。	1 調査対象 ウミウ 2 調査内容 ウミウの各個体から血液を収集し、抽出したDNAを用いた解析	かみね公園管理事務所
44	茨城大学	動物園におけるサシバエ飛来反応に及ぼす吸血動物の匂いの影響調査	被吸血動物の匂いに着目し、高頻度被吸血動物と低頻度被吸血動物の匂いの違いがサシバエの飛来反応に及ぼす影響を調査した。	1 調査対象 ポニー、シマウマ 2 調査方法 各動物の毛及び糞のサンプリング	かみね公園管理事務所
45	茨城大学	日立風流物人形頭の3Dスキャン	茨城大学工学部理工学研究科の柴田助教と大学院生による民俗文化財の3Dスキャンを行った。	日立風流物人形頭(日立市郷土博物館所蔵)の3Dスキャンによるデジタル・アーカイブ化	郷土博物館
46	茨城大学	石名坂町・西の妻古墳群の発掘調査	茨城大学考古学研究室による西の妻古墳群第1号墳(日立市石名坂町1丁目地内)の発掘調査を行った。	1 目的 妻古墳群(日立市西)の墳丘形状や規模などの把握 2 内容 「考古・文化遺産実習」における発掘調査の実施	郷土博物館

令和4年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
47	茨城大学	教育ボランティア支援事業	茨城キリスト教大学、茨城大学、常磐大学に教育ボランティア募集案内の協力を依頼し、応募した学生を採用した。学生は市内小・中学校、特別支援学校で学習指導の補助等のボランティア活動を行った。	1 実施期日 令和4年4月から令和5年3月まで 2 採用者 22人(茨城キリスト教大学15人、茨城大学6人、常磐大学1人) 3 採用者内訳(校種別) (1) 小学校9校 (2) 中学校1校 (3) 特別支援学校1校	指導課
48	常磐大学	大学生人材リスト活用事業「(仮称)ダイバーシティひたちをつくる大学生円卓会議」	「大学生人材リスト」を作成したことから、リストを活用し、第4次ひたち男女共同参画計画についてをテーマに意見交換をすることで、課題を抽出する機会とした。	1 開催日 令和5年2月19日(日) 2 内容 大学生人材リストについて、意見交換会 3 参加者 茨城キリスト教大学生1人、常磐大学生4人	女性若者支援課
49	常磐大学	資格取得準備講座 認知症ライフパートナー検定試験 ～3級をめざして～	常磐大学の教授を招き、認知症についての基本的な知識や症状に対する対応の仕方、コミュニケーションのとり方などを検定試験の内容を通して学んだ。	1 実施期日 令和4年9月24日(土)から11月12日(土)【全5回】 2 題目 資格取得準備講座(認知症ライフパートナー検定試験～3級を目指して～) 3 受講者 延べ109人	女性若者支援課
50	常磐大学	男女共同参画セミナー ジェンダーバイアスを意識しよう!	常磐大学の教授を招き、「ジェンダー平等の実現を目指して、社会を変えていくために私たちに今できること」をテーマに開催した。グループワークで参加者同士の意見交換を行い、様々なバイアスが存在、社会生活を複雑化していることを学んだ。	1 開催日 令和5年3月4日(土) 2 題目 男女共同参画セミナー「ジェンダーバイアスを意識しよう!」 3 受講者 16人	女性若者支援課
51	常磐大学	第4回発達段階に応じた子育て講座	未就学児の保護者を対象に、子どもの発達段階に応じた学びの場を提供し、家庭における子どもとの関わり方や保護者が抱える育児不安の軽減等に努めた。	1 開催日 令和4年11月25日(金) 2 題目 「保護者のコミュニケーションー自分も相手も大切に自己表現ー」 3 参加者 保護者9名、子ども10名	子どもセンター
52	常磐大学	教育ボランティア支援事業	茨城キリスト教大学、茨城大学、常磐大学に教育ボランティア募集案内の協力を依頼し、応募した学生を採用した。学生は市内小・中学校、特別支援学校で学習指導の補助等のボランティア活動を行った。	1 実施期日 令和4年4月から令和5年3月まで 2 採用者 22人(茨城キリスト教大学15人、茨城大学6人、常磐大学1人) 3 採用者内訳(校種別) (1) 小学校9校 (2) 中学校1校 (3) 特別支援学校1校	指導課

令和4年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
53	筑波大学	健康講座 いろいろな鼻アレルギー治療～自宅でできること、病院でできること～	筑波大学の教授をお招きし、健康維持に大きな役割を果たす鼻アレルギーについて種類や性質等を学んだ。	1 開催日 令和4年9月3日(土) 2 題目 「いろいろな鼻アレルギー治療～自宅でできること、病院でできること～」 4 受講者 40人	女性若者支援課
54	筑波大学	茨城県・日立市女性のヘルスケア地域医療学寄附研究部門事業	筑波大学において、産婦人科医師が不足している県北の中心都市である本市を基点として、地域医療における女性のヘルスケア全般について対応する産婦人科医療体制のあり方に関する研究を行うことにより、その成果を日立総合病院地域周産期母子医療センターの再開等に資した。	1 実績 日立総合病院に対し、7名の産婦人科医師の派遣(派遣元:筑波大学) 2 実施期日 平成31年4月1日から令和6年3月31日まで(5年間)	地域医療対策課
55	茨城高専	産学官連携研究開発補助事業	県北地域中小企業が大学等と共同研究契約等を締結して実施する研究開発に係る経費を補助した。	1 支援件数 1件 2 支援内容 カメラ等を用いたMCツールマガジン管理による既存設備のDX対応)	商工振興課
56	帝京科学大学	アブダブラゾウガメの消化速度と体温・活動量に関する研究	アブダブラゾウガメの活性とエサの消化速度の関係を明らかにし、飼育環境や季節に応じた適切な給餌量・給餌間隔、適正な保温等の飼育管理指針を作成した。	1 調査対象 アブダブラゾウガメ 2 調査方法 (1) 背甲に加速度センサーを装着し、活動量調査 (2) 背甲に温度ロガーを装着し、体表面温度調査 (3) 温度ロガーを飲ませ、消化管内温度を測定及び消化速度の把握	かみね公園管理事務所
57	聖心女子大学	かみね動物園チンパンジー集団の変化と葛藤管理行動	チンパンジーは、挨拶行動を始めとする葛藤管理行動が見られることが報告されているが、詳細な検討はなされていない。 1匹のチンパンジーが別の集団に移ったことにより生じた集団のメンバーたちの行動、特に葛藤管理行動の変化について検討した。	1 研究対象 チンパンジー 2 調査内容 (1) チンパンジーたちの挨拶行動と、その相互作用 (2) 集団のメンバーの変化に伴う、チンパンジー同士の関係性の変化	かみね公園管理事務所
58	聖心女子大学	人工飼育チンパンジー乳児の群れ復帰プロセス	母親の死亡や育児放棄など、何らかの理由により人工飼育になる場合がある。 本研究では、1匹のチンパンジーが集団に復帰するプロセスについて観察し、どのように他個体に受け入れられるのか、集団メンバーたちと関係性に变化が生じるのかについて調査した。	1 研究対象 チンパンジー 2 調査内容 (1) 馴致期間におけるチヨに対する他個体の行動とチヨによる他個体への働きかけ (2) チヨが集団に加わることにより生じるチンパンジー同士の関係性の変化	かみね公園管理事務所

令和4年度大学との連携事業の実績

No.	大学名	事業名	概要	内容実績	担当課
59	武蔵野大学	ドメスティック・バイオレンスを考えるパート24精神的DV～見えない暴力で苦しむ被害者への理解と援助の在り方～	武蔵野大学非常勤講師をお招きし、精神的DVの一つであるモラルハラスメントについて、事例を交えながら特徴や影響を学んだ。 また、被害の発見からモラハラがある家庭で育つ子どもへの影響やモラハラ被害者を支援する際の留意点などについて理解を深めた。	1 開催日 令和4年11月11日(金) 2 題目 ドメスティック・バイオレンスを考えるパート24 精神的DV ～見えない暴力で苦しむ被害者への理解と援助の在り方～ 3 受講者 延べ40人	女性若者支援課